

(2) 4年生授業実践の取組

第4学年2組 算数科学習指導案

平成27年 10月27日(火) 第5校時
 授業者 教諭 徳世 翠 (T1)
 スクールアシスタント 斎藤 秋子 (T2)
 場所 4年2組 教室
 児童数 男子17名 女子19名 計36名

1 単元名 面積のはかり方と表し方

2~6 略




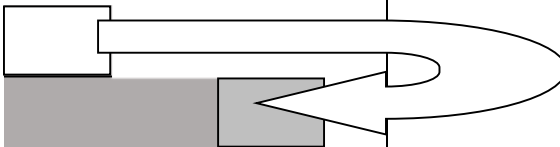
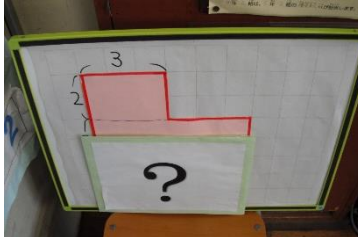

7 本時の学習指導 (5/11時)

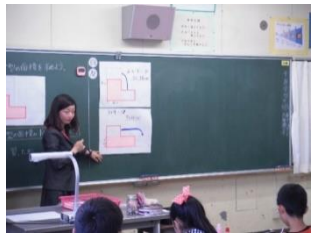



(1) 目標

○既習の長方形や正方形の面積を求める学習を活用して、長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を考え、面積を求めることができる。 (数学的な考え方)

(2) 展開

学習活動	主な発問 (◎) 予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点 (○) 評価 (◇) 手だて	時間
1 問題を知る。	◎今までの問題と違うところはどこですか。 ・長方形や正方形ではない。 ・でっばているところがあるからできない。	T1 全体指導 T2 個別支援 視点② 手だて①	3
2 課題を設定する。	◎どのようにしたら求められそうですか。 ・長方形ならできる。 ・正方形ならできる。	◎提示の仕方を工夫し学習意欲を高め、既習との違いに気付くことができるようにする。 ○算数コーナーの既習内容を基に考え方の見通しが持てるように助言する。 視点② 手だて③	4

<p>3 自力解決をする。</p>	<p>◎自分で考えた求め方を、どのように工夫したのか説明できるように、図や式や言葉に表しましょう。</p> <p>上下に分ける</p>  <p>左右に分ける</p>  <p>たしてからひく</p>  <p>移動する</p> 	<p>○考え方が思いつかない児童に、お助けカードを机に立てさせることで、素早く支援できるようにする。</p> <table border="1" data-bbox="805 448 1340 750"> <tr> <td data-bbox="805 448 1061 750"> <p>【T1】 1、2号車から、机間指導をする。 自力解決をしている児童を見取る。</p> </td> <td data-bbox="1061 448 1340 750"> <p>【T2】 3、4号車から、机間指導をする。 自力解決が困難な児童に支援する。</p> </td> </tr> </table> <p>支援の仕方 ヒントカード置き場 視点② 手だて②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方眼紙に図形が描いてあるもの ・図形だけのもの <p>(自力解決が困難な児童には、ヒントコーナーに児童を集めて少人数支援をする。)</p>   <p>◇どの考えも既習の長方形や正方形の形を基にして求めていることに気付き、既習を活用しようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】</p>	<p>【T1】 1、2号車から、机間指導をする。 自力解決をしている児童を見取る。</p>	<p>【T2】 3、4号車から、机間指導をする。 自力解決が困難な児童に支援する。</p>	<p>7</p>
<p>【T1】 1、2号車から、机間指導をする。 自力解決をしている児童を見取る。</p>	<p>【T2】 3、4号車から、机間指導をする。 自力解決が困難な児童に支援する。</p>				

<p>4 考えを出し合う。(かかしタイム)</p>	<p>◎考えを発表しましょう。</p>  <p>◎同じ方法を思いついた人はいますか。</p>	<p>○児童の考えは OHC を使いテレビに映す。</p> <p>○予想される方法をあらかじめ用意しておき、板書できるようにする。</p> <p>○発表した児童と、同じ方法を思いついた児童にも説明させ、発表の機会を増えるようにする。</p> <p>○それぞれの考えのよさを認めながら、どの方法も長方形や正方形の形を利用して考えていることに気付けるようにする。</p> 	<p>10</p>
<p>④でこぼこな形でも、長方形や正方形の形をもとにして考えれば、面積を求めることができる。</p>		<p>○なるべく児童の言葉を用いてまとめるようにする。</p>	<p>3</p>
<p>6 適用問題に取り組む。</p> 	<p>◎学習した方法を使って、問題を解いてみましょう。</p> 	<p>○適用問題に取り組む前に、板書を使ってペアで話し合い、解き方について見通しが持てるようにする。</p> <p>◇長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を、求積方法が既習である長方形や正方形に分割するなどして考え、既習を生かして図や式などを用いて説明することができる。 【数学的な考え方】</p>	<p>8</p>
<p>7 グループで伝え合いをする。</p>	<p>◎自分の考えを図や式、言葉を使ってグループの人に発表しましょう。</p>	<p>○プリントを指し示しながら、図や式を結び付けて説明したり、順序立てて説明したりできるようにする。</p> <p>視点③ 手だて①・②</p>	<p>7</p>

8 学習の振り返りをする。	◎今日の学習の振り返りをして ましよう。 ・長方形や正方形を使えば、 面積を求めることができる。	○振り返りでは、既習を生かして問題を解 くことができた児童や、問題によって解 き方を変える良さに気付いた児童を称 賛し、次時への意欲を高める。	3
---------------	---	--	---

(3) 板書計画



8 成果と課題

《成果》

- 導入場面では、図形を視覚的に提示することで、問題把握が素早くでき、時間を短縮することができた。
- 算数コーナーなどを使い、既習を生かして自力解決に取り組むことができた。
- 適用問題に十分時間をとることができたので、自分の力で問題を解くことができ、達成感を味わうことができた。



《課題》

- ヒントコーナーでは、考えのイメージをもつことができたので、自分のノートで自力解決する時間を確保したい。
- 練り上げでは、事前に板書の掲示物を作成することに加え、図に線を引くなど、考えを視覚的に示す工夫をして、より理解が深まるようにしたい。
- 伝え合いでは、相手の考えを受け止めてから、自分の考えを伝えるような視点を示すようにしたい。